

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月12日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4270300504		
法人名	有限会社 プレア企画		
事業所名	グループハウス およりの郷		
所在地	〒855-0874 長崎県島原市鎌田町丁4133番地 (電話)0957-65-5116		
評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島2丁目7217島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成19年10月31日	評価確定日	平成20年1月15日

## 【情報提供票より】(H19年 10月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 7月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	16 人	常勤 4 人, 非常勤 12 人, 常勤換算 5.1 人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1階建ての	1階 ~	1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	14,000 ~ 15,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	有( 円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,000 円

### (4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護1	3 名	要介護2	2 名
要介護3	2 名	要介護4	0 名
要介護5	0 名	要支援2	2 名
年齢	平均 84 歳	最低 79 歳	最高 94 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	泉川病院 松藤歯科
---------	-----------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

背景には普賢岳、道路を挟むと、海を臨む風光明媚な自然に囲まれた当ホームは、災害復興後の静かな住宅地にある。車椅子で余裕をもって移動可能な広々としたスペースと目配りがしやすい間取り、十分な採光がとられた機能性豊かな造りである。島原半島グループホームケア研究会会長職にある代表者の有するネットワークに大きくバックアップされていることから、研究会、勉強会の機会が多く、同業者との相互交流も積極的で、情報収集によるサービスの質の向上が図りやすい。行き届いた目配り、心配りによるケアサービスと、キーワードの「ゆっくり、のんびり、のどか」そのままのあたたかい家庭的な雰囲気作りには、スタッフへの理念の浸透が伺える。同法人内の他事業所との連携によるメリットも受けつつ、管理者をはじめ職員全員によるさらなる取り組みによりホームの特色、個性的な面を打ち出していけることに期待が持てる。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 今後は課題への改善へ向けた取り組みが明確にわかるように、改善計画シートの作成と活用といった対策に全職員で取り組むことが望まれる。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 今回の自己評価は職員全員での取り組みはできなかったが、管理者が全職員による評価への取り組みの意義を深く理解している。今後の取り組みを期待したい。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 会議構成メンバーとして近隣の駐在所の警察官に積極的な参加もあり、報告、討議が活発に行われている。地域住民に対する会議参加へのさらなる働きかけにより地域に根ざしたホーム作りに支援と理解が得られることに期待したい。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族の意見を取り入れる場面作りとして、家族会の発足と第三者委員会の設置を検討中であり期待される。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 挨拶をかわす近隣住民との交流をより深めていくためにも、自治会加入を前向きに考えている点に期待したい。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	基本理念のもと「ゆっくり、のんびり、のどか」をキーワードに、家庭的な雰囲気作りと一人一人が自分らしく過ごせるように心がけ日々のサービスの提供に努めている。		同法人内の事業所(およりの郷)と基本理念を同じくしているということで、利用者のニーズと、ホームの雰囲気を大切にする当事業所の独自性と、地域密着の意義を考慮した点を追加した理念の再検討を期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所内の数箇所に理念の文言を掲示し、ミーティング時には職員間で確認するようにしている。		12人の非常勤職員が同法人内事業所と当事業所を行き来する勤務形態の中、独自性を打ち出した理念の検討後はさらなる職員全員の理解と申し送り時の確認が望まれる。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近くの公民館で正月に行われる小学生の餅つきには参加させてもらい、利用者も大変喜ばれている。しかし、法人内の二つの事業所合同での秋祭りではポスターを作成しコンビニや駐在所へ掲示、また地域住民へ配布したりと広報活動を行ったが、当事業所近隣の地域住民の参加はあまりなかった。		前向きに考えておられる自治会への加入により、積極的な地域との交流が深まることに期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価は職員全員での取り組みにまでは至っていない。前回改善項目については改善計画シートの作成、活用の取り組みの状況が確認できなかった。		管理者は自己評価への職員全員での取り組みを希望していて、またスタッフも評価の意義を理解していることから今後期待したい。外部評価の結果を踏まえ改善計画を作成し取組まれることで、より一層のサービスの向上が望まれる。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族、地域包括支援センター職員、また駐在所警察官の参加もあり、活動報告の他、活発な意見交換や質疑が交わされ、日々のサービス向上に活かしている。		

グループハウス およりの郷

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議以外では、現在はまだ積極的な取り組みは行われていない。		家族へ向けた通信以外に、情報発信、広報誌としてのホーム便りを作成し、市町村担当者にホームの実態や考え方を知ってもらう試みから始めて行くことに期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	2ヶ月に1回、入居者の生活の様子や健康状態を「おより便り」として個々の家族へ郵送していて、家族からも大変好評を得ている。面会が少ない入居者の家族へは電話で報告をおこなっている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時に意見等聞くようにしているが、苦情箱の設置等は行っていない。		民生委員等外部の方による第三者委員会の設置を検討中とのことで、ぜひ併せて家族の意見や不満が伝えられる場面作りとして家族会の発足を望む。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	12人の非常勤職員が法人内の二つの事業所を行き来するという勤務体制であるが、入居者に特に戸惑いは見られず、様々な経験を持つ職員の多様さと顔ぶれの変化に事業所全体が活性化されている点もみられる。		安定した人間関係とは、また違った人員配置におけるメリットもあるが、3ユニット27人の情報把握が求められるスタッフ間の申し送り、ミーティングをより重視したケアが望まれる。
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	非常勤職員も含めたスタッフ全員が、月1回行われる法人内の2事業所合同の勉強会に参加している。外部研修として島原グループホームケア研究会へも随時参加し、研修報告書の閲覧も行われており、全体として向上心豊かに取り組まれている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今年8月発足した連絡会に加入、情報収集に努めていく。また他施設とは合同での行事も盛んで、利用者同士の交流のみならず職員間の情報交換の場ともなっている。		代表者は他事業者との交流や連携の重要性の認識が深く、多方面で意欲的に取り組まれている。そのもとで、管理者はじめスタッフも他施設との相互訪問、職場研修を希望しており、今後の積極的な取り組みに期待する。

グループハウス およりの郷

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用の際には、見学して頂き納得の上、利用開始していただいている。入居時になかなか馴染めずいた場合も職員が常時付き添い、また家族の訪問等協力を仰ぎながら安心できる生活へと移行できた。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者一人一人の生活暦を絶えず念頭において対応、会話し、明るい笑顔を絶やさずゆったりとした態度で接している。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>その日その日を思うように利用者に過ごしてもらえよう、日々の関わりの中で思いを把握し、また職員間の申し送りにおいて留意し接している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>その日の申し送り時に職員の気付きを話し合い、介護計画を作成しているが、本人、家族の意見の反映は十分ではない。非常勤職員が二つの事業所を往来し介護にあたるので、ミーティングは2事業所合同となっている。</p>		<p>介護計画については本人家族の要望を聴き、スタッフ全員で話し合い、作成に活かすことを望む。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>モニタリングは、計画作成担当者のみで行っている。</p>		<p>モニタリングに反映しにくい記録となっている。経過的な記録のみでなく、生活プランに沿った気付きを書いていくと、更にモニタリングを意識した個別記録となり評価しやすいので、今後の取り組みに期待したい。</p>

グループハウス およりの郷

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	かかりつけ医の受診支援は出来る限り行っている。また、墓参り等の外出支援も行っており、外泊も自由である。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の受診協力は十分になされている。受診結果は「おより便り」という個人通信で家族に伝え、必要に応じて電話で伝えている。状況に応じて提携医を紹介している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療連携体制加算を取っているため、入居時に重度化や終末期に向けた意思確認については本人家族の同意を得ている。現在も高齢で体調を崩しがちな入居者もあられ、家族、かかりつけ医と相談を重ねながら対応している。		入居者の高齢化も進んでおり、状況の変化と共に本人家族の意向に見直しが必要と思われる。その上で、支援に繋げる為、事業所スタッフ全員での話し合い、方針の確認と共有化が必要と思われる。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	丁寧な言葉かけ、対応に気を配っている。記録物は事務室にて、きちんと管理されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、何人かで楽しく会話したりゲームに興じたり、居間のソファで横になり終日を過ごしたりと、思い思いにゆったりと過ごせる支援を行っている。		

グループハウス およりの郷

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	積極的に関わりたい希望のあられる入居者には台所に入って頂き、危険に留意しながら得意な調理作業を手伝ってもらっている。配膳、テーブル拭き、後片付けも入居者、職員一緒に行っている。		入居者同士、介助に入る職員とも会話のある食事風景ではあるが、業務上の人員の問題を解決して、スタッフが共に食事を摂ることで、より一層食事を楽しむ支援ができることに期待したい。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	回数の目安を設けてはいるが、入浴を心身のリラクスの場として尊重し、本人の希望に沿っていつでも入浴可能という支援ができています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の能力に応じ、食事の準備、洗濯物たたみなど役割をもっていただき、スタッフも感謝の念をもって手伝ってもらっている。活け花の得意な方には居間に活けていただき、「生活力の発見」を意識した支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	受診支援の合間にできる範囲での一人一人の外出の希望に応じるようにしている。近隣への散歩も欠かさずできるよう努めている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	家庭的な雰囲気と開放されたホームの実践の為、施錠はしていない。建物の間取りも出入りに目配りがしやすく、近隣の駐在所にも見守りを依頼し、安全面に配慮している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練を実施、夜間想定も行った。11月には消防、警察の協力による訓練を予定している。しかし、非常用食料、備品の準備には現在至っていない。		二つのホームを行き来する12人の非常勤職員全員が、漏れなく当ホームでの避難訓練を受けることが必要であり、それに伴う訓練回数の検討、連絡網の他に当ホーム独自の災害時対応マニュアル作成の検討など、対応に取り組んで頂きたい。又、広域避難場所の把握も望まれる。

グループハウス およりの郷

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の献立作成は法人内施設の栄養士が行っている。又、水分量は個別に記録している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂には手作りのカレンダーの他、ホワイトボードにその日の日付、献立などが書かれている。明るく風通しのよい広々とした居間には大きなソファー畳の間があり自由にゆったりと寛げる設えとなっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間同様に、明るい個室は筆筒、椅子、テレビなど本人の持ち込みの家具、道具に囲まれ、思い思いに壁に家族の写真を飾ったりと、個性あふれる居心地のよい居室作りがなされている。		